

市制 20 周年記念



佐八のみりよく



佐八小学校

令和 6 年度 3・4年生の取組

1 佐八かんこ踊り

(1) かんこ踊りとは

佐八かんこ踊りは、700 年前から精霊踊り、豊年踊りとして踊り続けられています。たき火を中心に輪を作りおどる勇ましい踊りです。踊り子、音頭、世話人、町中の人々が、1つになって祭りを作りあげてきました。踊り子は、頭にシャグマ、花笠をかぶり、腰にシモタ、カンコをつけます。

まい晩練習をくりかえし、8月15日・16日の本番をむかえます。

(2) かんこ踊りのきまり

かんこ踊りは小学4年生から42歳までの男性が踊ったり鞆鼓(かっこ)を叩いたりします。新盆の供養のための踊りで、1回の

踊りは30～40分あまりも続きます。公民館で火を中心に踊ります。

《踊り子の道具》



(3) 体験者に聞いた話

① やりがい

無形文化財に指定された、かんこ踊りを長男だったから踊ることができたことにやりがいを感じました。

② 楽しかったこと

ふだん話さない地域の人と交流できる場所は楽しかったです。

③ 辛かったこと

夏に火の周りで踊るのでとても暑かったです。シャグマは重く、落ちないようにきつくあごひもをしばって痛くなりました。バランスをとるのも難しかったです。

④ これからの人に伝えたいこと

参加することはもちろん、道具も受け継いでほしい。

(4) 子どもたちの感想

☆地いきの行事を知ること、自分が住んでいる場所を好きになれた。

☆かんこ踊りのことを深く知れてよかった。

☆重い道具をかぶって長い時間踊れていたことがすごいと思いました。

☆文化を受けつぐことは、文化に根付いている地いきのつながりも守っていけるとだと思った。



2 佐八小校区の神社

佐八小学校の近くにはたくさん神社があります。今回は3つの神社を調べました。

(1) 佐八浅間神社

社には2体の石仏が置かれている伊勢市でもめずらしい神社です。



(2) 川原神社



祭神は宮川の守ご神と伝えられる、つくよみそんみたます。

この場所は昔、宮川の

川原で、さわ地(現在の地名を佐八という)であったことが考えられています。

(3) 宮本神社

参道の石段を上り静かな木立の中を進み行くと拝殿(はいでん)が見えます。おごそかで冷気を感じさせる社で、天忍穗海人命(アメノオシホノアマノミコト)を祭神とする佐八町の守り神です。鮎を媒介(ばいかい)として神宮と関りの深い社であったことが考えられています。今も祭礼には鮎のなれ鮎を供える習慣があります。



(4) 佐八小地区にある他の神社

○大倉八柱神社 ○園相神社

○津村八柱神社 ○津島神社

(1) 藤波遺跡について

遺跡の広さは、東西 250m、南北 370m の広さがあります。藤波遺跡からは、多くの石器や土器が見つかっています。この石器や土器は縄文時代に使われていたものなので、佐八小学校の裏には縄文時代の人が住んでいました。

佐八藤波遺跡(藤波の里)

所在 伊勢市佐八町

当遺跡は、宮川右岸標高、六〇の河階段丘上に立地します。

遺跡範圍はおおよそ東西二五〇・南北一七〇にちよぶ広大なものと推定されています。時代は彌生時代後・晩期を占め、弥生時代中期および古墳時代から歴史時代にいたり、当時の人々々が使用した石器や土器が多数散布しています。

このうち彌生時代の資料は、石鎌やじり、石斧、おのこ、燧石の「人形石鎌」^{（注）}、石師、おもり、各種の土器が見つかっており、この地方でも早くから縄文人が生活していたことがわかります。

古墳時代の資料は、土師、勾玉などが確認されており、学校長の畑地には、五匹ほどの古墳と推定される高まりが残っています。また、神宮宮主・藤波氏の居宅地にも付近に所在していたと推定されており、国指定重要文化財「伊勢新名所総聯合」にも描かれています。

現在の校舎建設面には発掘調査した時に、四坊の痕跡、基平安時代末・鎌倉時代にかけて掘立杭建物・棟・溝・土坑・墓や、当時の貴重土道具が出土しました。

令和六年一月

伊勢市文化政策課



藤波遺跡は縄文後期から晩期にかけて栄えたムラの遺跡で、昔使われていた道具の土器や石器が発見されています。特に、矢の先につける石の矢じりが多く見つかりました。いろいろな道具を使って、どんぐりや動物の肉を食べていたそうです。

☆じっさいの道具を見せてもらいました。

矢の先がとてもとがっていました。

☆昔の人はいろいろなものを手で作っていたことがわかりました。

☆石をけずって、矢を作ったり、おのを作
ったりして大変そうだと思います。

☆土器にこげたあとがあったので、火を使っていたと思いました。

4 佐八地区の田んぼ

(1) 小学校のまわりの田んぼ

毎年、地域の農家さんにお手伝いしていただき、田植えや稲刈りの体験をしています。佐八小学校の周りには、たくさんの田があり、季節によって変化する様子を見ながら登校しています。



(2) 農家さんの話

佐八では主にコシヒカリを作っています。水は近くの池（笹原池）から引いています。コシヒカリが佐八の気候に合っていると思います。

米作りで大変なことはたくさんありますが、特に大変な時期は、田植えと稲刈り、そして、夏の草刈りです。おいしいお米を多くの人に食べてもらえるようにがんばっています。

(3) 子どもたちの感想

☆佐八で作られているお米はコシヒカリが

多いと知ることができました。

☆夏は特に大変だと分かりました。

☆感謝してお米を食べたいです。

5 玉田山

学校の近くには玉田山という丸い山があります。玉田山は、玉手山、円(つぶら)山とも呼ばれています。標高は82.2mで、山頂には常緑のもちの木が1本あります。また、山頂には古墳があり、直径10メートル高さ1.5メートルの石の部屋が見えます。

学校の周りは自然豊かで、たくさんの山がありますが、玉田山はすぐに見つけることができます。

佐八小学校の校歌2番には、「その名もゆかし 玉田山 栄えある歴史 みそなわし」と歌われています。

春の遠足では、玉田山に登り山頂で校歌を歌いました。

<佐八保育園の横から登ることができます>



<佐八小学校3階から見える玉田山>